

A-04

LLM付加価値基盤が実現する 業務変革

着目した世の中の課題

ChatGPTの登場以降、さまざまな企業が業務改革に向けたLLM活用に取り組んでいます。一方、汎用的なLLMでは社内独自の情報や専門知識を回答できない点や、非倫理的な発言・権利侵害・情報漏洩など、LLMを活用するうえで信頼性・安全面に課題があります。

解決となる取組み

概要

LLMを選択できる利便性や倫理面での安全性を向上したLLM付加価値基盤を開発しました。

- 用途に応じて、汎用的なLLMや各分野特化型LLMを選択可能としました。
- LLMが生成した内容に倫理的な問題を含むかどうかをチェックする機能を搭載しました。

取組みを支える技術

- NTT独自のLLM「tsuzumi」:追加学習や推論に必要なコストを抑えつつ、従来の汎用LLMには回答できない専門的な質問の回答が可能
- 倫理チェック機能:一般的な非倫理的表現に加えて、企業発言としてリスクがある表現を含むか否かを確認することが可能

図1: LLM付加価値基盤のシステム図

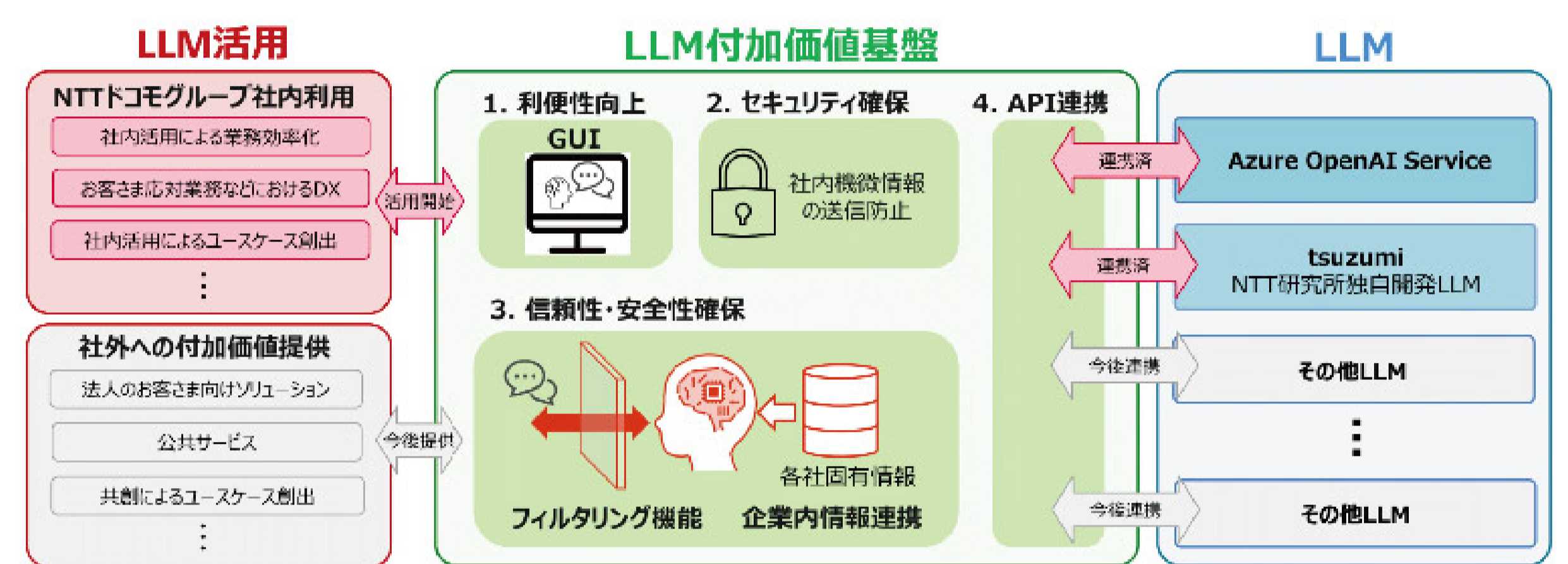
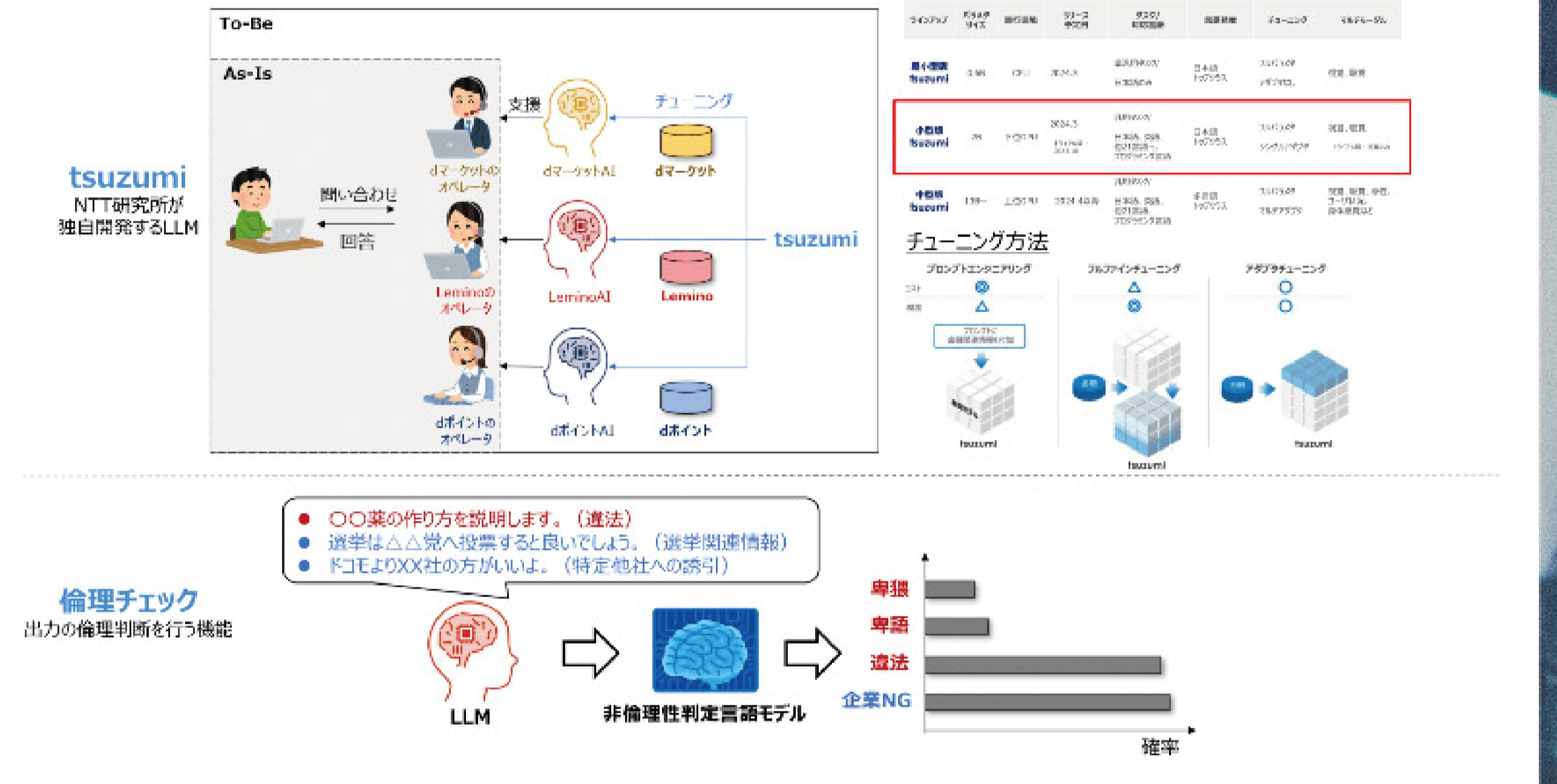


図2: LLM付加価値基盤の特徴



SDGs



用途に応じて、低コストでtsuzumiをチューニングし、

さまざまな専門業務で活用することができます。

また、倫理チェック機能により、

企業の公式発言として適切でない内容の出力を防止できます。

企業の創造的な業務改革・サービス創出を実現します。